



100%塩素フリーの 「金属表面改質強化剤」!!

●ジェベル200のエンジンオイル量は交換時で約850mlなので、約50ml注入。ボトルに目盛りはないが光にかざすと中身がわかり、なおかつキレイな円柱形なので目分量をつかみやすい。総量が規定量を超えていないかオイル窓で確認すれば注入作業は終了。数分間の暖機運転をするか、そのまま走行すればオーケーということなので、近所をひと走りした

02. EARTH-TECH LUBROID LE-2000/LE-2500

価格●LE-2000 7128円(240ml) / LE-2500 4104円(120ml) ●アーステック ☎0551-38-1438 <http://lubroid.com/>

「エンジン内のフリクション低減!」、「大幅な燃費向上!」……。目を引くコピーとともに販売されている、多種多様な商品たち。なかでも塩素系成分を含むものは摺動部分、つまり接触しあう金属どうしの表面を、ある意味「溶かして」平滑化するの即効性があり、潤滑性能を格段と向上させることができる。

しかし、エンジンで使用する可燃燃焼時に有害な塩素ガスを発生しかねないため、環境面では??? さらに金属本体はもちろん、ゴムパッキンやシール類への高い攻撃性についても指摘されてきた。

塩素を使わず、塩素を超える性能を発揮する製品(超極圧潤滑剤)は、長らく実現不可能だと言われてきたが、11年に純国産メーカーであるアーステックが実用化に成功。その後も慎重な開発が続けられ、13年から二輪・四輪用の「ルブroid」が発売開始されたのだ。

筆者は1万9200kmを走行した05年式スズキ・ジェベル200に、ルブroidを規定量(オイル総量に対して5~6%)注入。まずはギヤの入り具合がともスムーズになった。直近、特に1速や2速からニュートラルを出すのに苦労していたので、この変化にはニマリ。

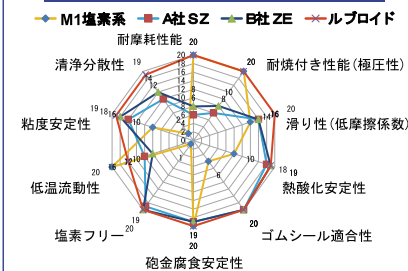
なお、塩素フリーゆえエンジン内の金属表面全体に化学フィルム(分子結合被膜)を形成するのには多少の時間がかかるとのこと。ジェベルも約250kmを超えたあたりからメカノイズの音量が明らかに低減し、スロットル操作に対する反応も鋭くなった。何よりエンジンのかかりやすさが以前とは段違いに……。

それから半年。すでに3255kmを走行して13回給油。注入前4回の給油での平均燃費は31・90km/ℓだったが、注入後は33・68km/ℓに。向上幅は1・78km/ℓ(約5・5%)。あくまで参考記録ながら、一貫して好調さは続いている。

●内容物に塩素はもちろん、ハロゲン物質、重金属、PTE、固体成分も含まれないとか。では一体何が効果を発揮しているのか? 問い合わせてみたところ、「100%化学合成油の独自PAOをベースに、自社開発のミネラル系特殊有機化合物を完全融合させた金属表面改質強化剤がルブroidなのです」との回答を得た。単純なブレンドではないらしい……。ともあれ、装備重量100kg超えの筆者を乗せつつも、注入後第12回目の給油では35・61km/ℓを記録するなど、その効果には日々驚かされている。高回転時や長期間停止時以外でも油膜切れからエンジンを守る効果はありそうだ



ルブroidと他社製品・性能比較グラフ



●アーステック提供のレーダーチャート。低年式のバイクに乗っている人からすれば、ゴム&パッキン類をまったく傷めない点がうれしいはず。なお、エンジンによって異なるが、約5000kmほど走行すると、効果が少しずつ減ることもあるという。その場合は3%ほどの継ぎ足しをすれば、再び性能が改善されるとのこと



●4サイクル、ディーゼル、ロータリー各エンジンに使用可能。過給機付きでも問題なし(製品の特長上、残念ながら2サイクルには使用できない)。液剤のにおい(かき混ぜ臭、石油臭、溶剤臭)は皆無。ほとんど無臭なのは驚く。写真は240mlボトル、バイクユーザーならば、120mlボトルで十分だろう